

## ■ 見本版：ニューノーマルの大学間交流（国際調査・日本国内分）

1～21/21

コロナ禍によって国境を越える学生の移動は一旦停止させられました。交換留学制度、超短期（サマースクール）プログラム、Double Degree、Joint Degreeといった、大学間の各種教育交流について、どのようにすればニューノーマルな環境下で円滑に企画・運営ができるのでしょうか。国内外の関係者のご意見をひろくうかがう一環として、本調査を実施しております。

学校名  
(例) 大阪大学 (必須)

学校の設置形態 (必須)

国立大学  
公立大学  
私立大学  
その他 (短期大学など)

回答者職責  
ご回答いただいている方について、御校でのお立場としてもっとも近い選択肢をお選び下さい。(必須)

学長・理事長など学校運営の責任者  
副学長・理事および学長補佐など執行部関係者  
部局長・部局執行部・国際センター長など  
教授・准教授など  
事務部門責任者 (局長・部長・課長など)  
関係事務職員  
コンサルタント、外部アドバイザー  
その他

指示の有無  
以下お答え頂く内容は、ご自分の知識・知見で回答されていますか、それとも職責上位、もしくは機関の意思決定に関わる方からの指示、命令もしくは許可のもとでご回答いただいていますか。(必須)

-

指示者職責  
あなたに本調査への協力を指示した方、また回答方法・内容について指示や許可をされた方の職責・責任について、もっとも近いのは、以下のどの選択肢でしょうか。(必須)

学長・理事長など学校運営の責任者  
副学長・理事および学長補佐など執行部関係者  
部局長・部局執行部・国際センター長など  
教授・准教授など  
事務部門責任者 (局長・部長・課長など)  
関係事務職員  
コンサルタント、外部アドバイザー  
その他

回答者ご氏名 (必須)

ご連絡先 (メールアドレス) (必須)

（確認）

国際交流に関連するデータ等が記載された御校のwebサイトがあればご教示下さい。

### I. 感染症制御後の学生交流に向けての準備

国境を越えた人の移動が自由になった場合を見越して、どのように学生交流を再開するのかについて、御校では何らかの方針をお持ちですか。

もっとも近い選択肢をお選び下さい。（必須）

【はい】私たちはパンデミック後のガイドライン・方針を定めています。

【はい】私たちはパンデミック後に向けてのガイドライン・方針を定めつつある、もしくは検討中です。

【いいえ】しかし、私たちは現在そういった方針制定について検討をはじめようとしています。

【いいえ】しかし、私たちは方針を決めるための情報を収集中です。

【いいえ】私たちは今後感染症の終息に関わりなく、当面の間大学間学生交流はおこなわないことにしています。

【いいえ】以前通りに留学交流を再開するだけですから、新たな方針は不要です。

【いいえ】どこから手をつけて良いのかわかりません。

国や入管の方針（例えば国境管理の変更や、政府からの通達・要請など）とは別に、学生交流再開に向けて御校が方針を決めた、もしくは決めるとしたら、どういった意見や情報を参考にさせていただきますか。

選択肢を3つまであげて下さい。（必須：3回答以内）

学生の意見

保護者の意見

感染症対策について知見のある学内教職員などの意見・アドバイス

リスク管理、留学エージェント、もしくはコンサルタントなど学外専門家の意見やアドバイス

有名もしくは影響力のあるほかの高等教育機関の動向

国内の大学連合、ネットワークなどからの情報

海外の大学連合、ネットワークなどからの情報

ベンチマークにしている大学や大学群の動向

どういった情報に頼れば良いか、決めかねている

その他

### II. 感染症制御後のオンサイト（実地）とオンライン（仮想）

感染症のために各国の高等教育機関は実地の学生交流を一時停止しました。そしてオンラインによる交流会・教育の提供をおこなってきた例も多く見られます。

感染症制御後のオンラインとオンサイトによる学生交流企画のあり方について、御校での現在の見通し・お考えはどのようなものでしょうか。（必須）

オンライン100% オンサイトの交流は企画・実施しない

オンライン80%以上：オンサイト20%以下

オンライン60%以上：オンサイト40%以下

オンライン40%以上：オンサイト60%以下

オンライン20%以上：オンサイト80%以下

オンライン0% オンサイトの交流しか企画・実施しない

まだ何とも答えられない

### III. 感染症制御当初のプログラム運営

国境を越えた人の往来が可能になったとき、大学間の留学交流プログラムで派遣を希望する御校学生の中から、最適の候補者を選抜するとき「平等性」「既得権」についてどのようにお考えですか。適切なところにクリックをお願いします。

（必須）

(1) 【平等性】渡航中止・中断を余儀なくされていた学生と、新たに留学交流を希望する学生の間は公平・平

等に取り扱われるべきだと思います。

-

(2) 【既得権】本人の責に帰さない理由で渡航中止・中断を余儀なくされていた学生は、渡航実現に向けて優先的に取り扱われるべきと考えます。

-

「平等性」と「既得権」のほかにお考えのところなどがあればお聞かせください

国境を越えた人の往来が可能になったとき、御校ではどのような方針で学生の交流を再開させることになるでしょうか。もっとも近い選択肢を1つ選んで下さい。（必須）

国境を越えた学生の往来は（もう・当面）再開しません。  
国境を越えた学生の交流は様子を見ながら徐々に再開します。  
交流が可能になったらすぐに以前と同じ規模や活発さに戻します。  
事情が許せば以前よりも大規模、また活発に開始します。  
わかりません  
その他

#### IV. 留学と修了要件

御校には修了・卒業の要件として、留学など海外での経験を要するコースや教育課程（ダブルディグリーの課程などを含む）がありますか。

もっとも近い選択肢を1つ選んで下さい。（必須）

はい、本校にはそういった課程・プログラムがあります。  
いいえ、本校にはそういった課程・プログラムはありません。  
いいえ、本校にはそういった課程・プログラムはありませんが、沢山の学生が大学間交流を希望します。

国境を越えた学生の移動が出来ない間、留学必須の課程を御校ではどのように運営されましたか。以下の対応例が当てはまるのか、「はい」か「いいえ」でお答えください。（必須）

(1) （一部または全部の課程で）国境を越えた人の移動が自由に出来るまで、卒業・修了を延期させました（させます、させています）。

はい      いいえ      検討中

(2) （一部または全部の課程で）海外の授業にオンライン参加させるなど、仮想的な代替教育プログラムを課し、修了要件相当と見做すことにしました。

はい      いいえ      検討中

(3) （一部または全部の課程で）学内で実施されている授業に参加させるなど、国内で実地におこなわれる代替教育プログラムを課し、修了要件相当と見做すことにしました。

はい      いいえ      検討中

(4) （一部または全部の課程で）留学生や外国人住民とのワークショップなど、国内での多文化経験に基づく実践もしくは実習中心の代替プログラムを課し、修了要件相当と見做すことにしました。

はい      いいえ      検討中

上記以外の対応をされていたら、具体的内容をご教示下さい。

#### V. ニューノーマル期の合意形成

オンライン中心であれ、オンサイト中心であれ、感染症制御後の大学間交流が堅固な基盤の上に再構築されるには、どういったレベル・手続きでの合意や枠組みづくりが必要だと思われますか（例えばオンラインとオンサイトの「等数交換」比率を定めるなど）。

以下にいくつかの異なった考え方を例示しますが、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらとも言えない」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の5段階で、御校の判断をお示し下さい。（必須）

(1) 【各大学個別の対応から】大きな枠組みではなく、各大学が特定もしくは少数の協定校との間での個別の合意からはじめるべきだと思います。

-  
(2) 【政府等のイニシアティブから】大きな枠組み作りは政府（政府間）もしくは公的機関が取り組むべき課題であり、各学校はそれに従う立場だと思います。

-  
(3) 【国内での合意を優先】まずは国内大学等で国際的にも通用する新たな枠組みを議論・共有するべきで、国際的な枠組みは国内での認識の共有が出来てからでしょう。

-  
(4) 【国際的な大学イニシアティブから】国境を越えた交流の枠組みであるので、はじめから国際的な場で関係大学等が議論し、ベストな解を探るべき課題だと考えます。

-

合意形成のあり方について、上記以外にも御校としてのお考えがあればお聞かせ下さい。

感染症制御後の学生交流の枠組みを提案、議論、また異なった立場の高等教育機関の間で合意を形成していく主体として、以下の選択肢からどこが（誰が）相応しいと考えますか。

3つまで選んで下さい。（必須：3回答以内）

研究者・学会

高位意思決定者による国・地域単位のネットワーキング（私大連、私大協、国大協、HRKなど）

コンサルタントなどの専門家

影響力のある大学からの提案・イニシアティブ

国際教育について研究・提言をおこなってきた国境を越えた学校ネットワーク組織

(IIE、KAIE、EAIE、IEAA、NAFSA、JAFSAなど)

政府もしくは政府関連機関（日本学生支援機構、DAAD、British Councilなど）

国際機関（OECDなど）

個別の大学同士で処理するしかない

その他

## VI. その他

コロナ禍が終息したのち、御校の、そして世界の大学間交流を盛んにするために、重要な条件はなんだとお考えですか。よろしければご教示下さい。

リセット

完了

調査票編集に戻る